

PVB-2100	クラス1容器に使用可能な材料の規定	I-4-8
PVB-2110	クラス1容器に使用可能な材料	I-4-8
PVB-2111	溶接する母材の規定	I-4-8
PVB-2112	材料に関する熱処理、試験に係る部分の特例規定	I-4-8
PVB-2200	機械試験に関する要求	I-4-8
PVB-2210	試験片の熱処理	I-4-8
PVB-2220	試験片の採取方法	I-4-9
PVB-2221	試験片の採取位置に対する要求	I-4-9
PVB-2222	加工を受ける材料の試験片採取時期	I-4-10
PVB-2300	破壊靱性要求	I-4-11
PVB-2310	クラス1容器における破壊靱性要求	I-4-11
PVB-2311	破壊靱性試験不要となる材料の規定	I-4-11
PVB-2320	破壊靱性試験における試験片数と組数	I-4-12
PVB-2321	落重試験	I-4-12
PVB-2322	衝撃試験	I-4-12
PVB-2330	破壊靱性試験の方法および判定基準	I-4-13
PVB-2331	ボルト材 (マルテンサイト系ステンレス鋼を除く)	I-4-13
PVB-2331.1	再試験	I-4-13
PVB-2332	直径または対辺距離が50mm以下の棒および マルテンサイト系ステンレス鋼	I-4-14
PVB-2332.1	再試験	I-4-14
PVB-2333	その他の材料	I-4-14
PVB-2333.1	関連温度(RTNDT)の決定方法	I-4-14
PVB-2333.2	判定基準	I-4-15
PVB-2400	非破壊試験要求	I-4-15
PVB-2410	クラス1容器の非破壊試験要求	I-4-15
PVB-2411	各素材形状に対する非破壊試験	I-4-15
PVB-2412	溶接による補修	I-4-16
PVB-2413	非破壊試験の実施時期	I-4-17
PVB-2420	非破壊試験の判定基準	I-4-17
PVB-2421	垂直法による超音波探傷試験	I-4-17
PVB-2422	斜角法による超音波探傷試験	I-4-19
PVB-2423	放射線透過試験	I-4-20
PVB-2424	渦流探傷試験	I-4-20
PVB-2425	磁粉探傷試験	I-4-20

PVB-2426	浸透探傷試験	I-4-21	
PVB-2500	溶接材料	I-4-22	
PVB-2510	溶接に用いる材料	I-4-22	
PVB-3000	クラス1容器の設計	I-4-22	
PVB-3100	応力評価	I-4-22	
PVB-3110	ボルト材以外の応力評価	I-4-22	
PVB-3111	各供用状態における一次応力評価	I-4-24	
PVB-3112	供用状態A, Bにおける一次十二次応力評価	I-4-26	
PVB-3113	熱応力ラッシュ評価	I-4-26	
PVB-3114	疲労評価(供用状態A, B)	I-4-27	
PVB-3114.1	繰返しピーク応力強さに対する制限	I-4-27	A09
PVB-3114.2	疲労累積係数の制限	I-4-27	A09
PVB-3115	純せん断荷重評価	I-4-28	A09
PVB-3116	支圧荷重評価	I-4-28	A09
PVB-3117	圧縮荷重評価	I-4-28	
PVB-3120	ボルト材の応力評価	I-4-28	
PVB-3121	各供用状態における引張応力および曲げ応力評価	I-4-28	
PVB-3122	疲労評価(供用状態A, B)	I-4-29	
PVB-3122.1	繰返しピーク応力強さに対する制限	I-4-29	A09
PVB-3122.2	疲労累積係数の制限	I-4-30	A09
PVB-3130	疲労強度減少係数の規定	I-4-30	A09
PVB-3140	疲労解析不要の条件	I-4-31	A09
PVB-3150	オメガシールおよびキャノピーシールについての 応力評価	I-4-33	A09
PVB-3151	設計条件における一次応力評価	I-4-33	A09
PVB-3152	供用状態A, Bにおける一次十二次応力評価	I-4-33	A09
PVB-3160	極限解析に基づく一次応力評価	I-4-33	
PVB-3200	外面に圧力を受ける容器の規定	I-4-34	A09
PVB-3210	外面に圧力を受ける円筒形 または円すい形の胴、円すい形の鏡板または管	I-4-34	A09
PVB-3220	外面に圧力を受ける球形の胴 またはさら形または全半球形の鏡板	I-4-35	
PVB-3230	外面に圧力を受ける半だ円鏡板	I-4-35.1	A09
PVB-3300	簡易弾塑性解析	I-4-36	
PVB-3310	簡易弾塑性解析の適用	I-4-36	
PVB-3311	材料の最小降伏点および最小引張強さに		

	対する適用制限	I-4-36	
PVB-3312	温度制限	I-4-36	
PVB-3313	熱曲げ応力を除く一次＋二次応力強さの制限	I-4-36	
PVB-3314	繰返しピーク応力強さに対する制限	I-4-36	
PVB-3315	簡易弾塑性評価方法	I-4-36	
PVB-3400	評価に用いる寸法	I-4-39	
PVB-3410	減肉代の考慮	I-4-39	
PVB-3420	クラッド容器に対する強度評価上の取扱いについての規定	I-4-39	
PVB-3500	穴を設ける場合の規定	I-4-40	A09
PVB-3510	穴を設ける場合の適合条件	I-4-40	A09
PVB-3511	穴の補強の確認計算	I-4-41	A09
PVB-3512	隣接した穴の場合の規定	I-4-45	
PVB-3513	補強面積の設置条件	I-4-45	
PVB-3514	管台、強め材または溶接金属の規定	I-4-45	
PVB-3520	詳細応力解析によった場合の穴の補強の考え方	I-4-45	
PVB-3530	補強を要しない穴の適合条件	I-4-46	
PVB-3540	穴周辺の応力係数	I-4-47	
PVB-3541	応力係数を使用できる適合条件	I-4-47	
PVB-3542	各形状に対する応力係数	I-4-48	
PVB-3542.1	管台の軸が容器の面に直角である場合	I-4-48	
PVB-3542.2	管台の軸が容器の面に直角でない場合	I-4-49	
PVB-3550	代替設計	I-4-50	
PVB-3551	代替設計の適合条件	I-4-50	
PVB-3552	穴の補強に必要な面積	I-4-51	
PVB-3553	補強の有効範囲	I-4-51	
PVB-3554	管台、強め材または溶接金属の規定	I-4-52	
PVB-3555	遷移部分の形状	I-4-53	
PVB-3556	穴周辺の応力係数	I-4-54	
PVB-3600	流体の励起力を受ける管群	I-4-55	
PVB-4000	容器の製造	I-4-56	
PVB-4100	容器の形状	I-4-56	
PVB-4110	クラス1容器の形状	I-4-56	
PVB-4200	溶接部の設計	I-4-56	
PVB-4210	クラス1容器の設計	I-4-56	
PVB-4211	継手区分A	I-4-56	

PVB-4212	継手区分B	I-4-56
PVB-4213	継手区分C	I-4-57
PVB-4214	継手区分D	I-4-57
PVB-4215	その他の継手	I-4-57
PVB-4220	溶接部の検査	I-4-57
PVB-4221	開先面	I-4-57
PVB-4222	非破壊試験	I-4-57
PVB-4223	機械試験	I-4-57
PVB-4224	再試験	I-4-57
PVB-4230	継手の構造	I-4-57
PVB-4231	継手の食違い	I-4-57
PVB-4232	厚さの異なる母材の突合せ溶接の構造	I-4-58
PVB-4233	継手の仕上げ	I-4-58
PVB-4240	溶接後熱処理	I-4-58
PVB-4241	クラス1容器の溶接後熱処理	I-4-58
PVB-5000	完成検査	I-4-67
PVB-5010	クラス1容器の完成検査	I-4-67

PVC クラス2容器

PVC-1000	クラス2容器	I-4-68
PVC-1100	適用	I-4-68
PVC-1110	適用範囲	I-4-68
PVC-1120	温度制限	I-4-68
PVC-1200	クラス2容器の材料および構造の特例	I-4-68
PVC-1210	クラス2容器の材料および構造の特例	I-4-68
PVC-2000	クラス2容器に使用する材料	I-4-68
PVC-2100	クラス2容器に使用可能な材料の規定	I-4-68
PVC-2110	クラス2容器に使用可能な材料の規定	I-4-68
PVC-2120	材料に関する熱処理にかかる部分の特例規定	I-4-68
PVC-2130	溶接する母材の規定	I-4-69
PVC-2200	機械試験に関する要求	I-4-69
PVC-2210	試験片の熱処理および採取方法	I-4-69
PVC-2300	破壊靱性試験要求	I-4-69
PVC-2310	破壊靱性試験不要となる材料の規定	I-4-69
PVC-2320	破壊靱性試験における試験片数と組数	I-4-69
PVC-2330	破壊靱性試験の方法および判定基準	I-4-69

PVC-2400	非破壊試験要求	I-4-70
PVC-2410	鋳造品の RT 要求	I-4-70
PVC-2411	溶接による補修	I-4-70
PVC-2500	溶接材料	I-4-70
PVC-2510	溶接に用いる材料	I-4-70
PVC-3000	クラス 2 容器の設計	I-4-70
PVC-3010	クラス 2 容器の構造の規格	I-4-70
PVC-3020	検定水圧による設計	I-4-70
PVC-3100	容器の胴の規定	I-4-71
PVC-3110	容器の胴の形状	I-4-71
PVC-3111	形状	I-4-71
PVC-3112	容器の継手	I-4-72
PVC-3120	胴の厚さの規定	I-4-72
PVC-3121	胴の厚さの最小値	I-4-72
PVC-3122	円筒形の胴の厚さの規定	I-4-73
PVC-3123	球形の胴の厚さの規定	I-4-74
PVC-3124	円すい形の胴の厚さの規定	I-4-75
PVC-3124.1	内面に圧力を受ける円すい形の胴の厚さ	I-4-75
PVC-3124.2	外面に圧力を受ける円すい形の胴の厚さ	I-4-75
PVC-3130	厚さの算定式に含まれている継手効率の値	I-4-76
PVC-3140	厚さの算定式に含まれている効率についての規定	I-4-76
PVC-3150	胴に穴を設ける場合の規定および 補強を要しない穴の規定	I-4-78
PVC-3160	穴の補強についての規定	I-4-80
PVC-3161	補強の方法	I-4-80
PVC-3161.1	補強に有効な範囲	I-4-80
PVC-3161.2	補強に有効な面積	I-4-81
PVC-3161.3	補強に必要な面積	I-4-83
PVC-3162	2つ以上の穴が接近している場合の規定	I-4-83
PVC-3163	補強に使用する材料	I-4-84
PVC-3164	大きな穴を設ける場合の規定	I-4-84
PVC-3165	補強に有効な面積の配置	I-4-84
PVC-3166	補強に使用する材料の許容応力の考え方	I-4-84
PVC-3167	補強に使用する材料の許容応力が 小さい場合の扱い	I-4-85
PVC-3168	強め材で補強する場合の規定	I-4-85

PVC-3169	強め材の取付け強さ	I-4-85
PVC-3170	内圧を受ける円すい形の胴と円筒形の胴を接続する場合の規定	I-4-85
PVC-3171	接続する形状	I-4-85
PVC-3172	接続部に強め輪を設ける場合の規定 1	I-4-86
PVC-3173	強め輪の規定 1	I-4-86
PVC-3174	接続部に強め輪を設ける場合の規定 2	I-4-87
PVC-3175	強め輪の規定 2	I-4-87
PVC-3180	外圧を受ける容器の胴に 強め輪を設ける場合の規定	I-4-88
PVC-3181	強め輪の慣性モーメントの規定 1	I-4-89
PVC-3182	強め輪の慣性モーメントの規定 2	I-4-90
PVC-3183	強め輪の取付け方法	I-4-90
PVC-3184	強め輪の切欠き長さ	I-4-91
PVC-3185	強め輪の接合	I-4-93
PVC-3200	容器の鏡板についての規定	I-4-93
PVC-3210	鏡板の形状についての規定	I-4-93
PVC-3220	容器の鏡板の厚さの最小値	I-4-93
PVC-3221	さら形鏡板の厚さの規定 1	I-4-94
PVC-3222	さら形鏡板の厚さの規定 2	I-4-94
PVC-3223	全半球形鏡板の厚さの規定 1	I-4-94
PVC-3224	全半球形鏡板の厚さの規定 2	I-4-95
PVC-3225	半だ円形鏡板の厚さの規定 1	I-4-95
PVC-3226	半だ円形鏡板の厚さの規定 2	I-4-95
PVC-3227	円すい形鏡板の厚さの規定 1	I-4-96
PVC-3228	円すい形鏡板の厚さの規定 2	I-4-96
PVC-3230	鏡板に穴を設ける場合の規定および 補強を要しない穴の規定	I-4-96
PVC-3240	穴の補強についての規定	I-4-97
PVC-3241	穴の補強についての規定	I-4-97
PVC-3242	強め材による穴の補強	I-4-98
PVC-3300	容器の平板についての規定	I-4-99
PVC-3310	平板の厚さの規定	I-4-99
PVC-3320	平板に穴を設ける場合の穴の補強の規定	I-4-104
PVC-3400	フランジ付さら形ふた板についての規定	I-4-104
PVC-3410	中低面に圧力を受けるさら形ふた板形状	I-4-104

PVC-3420	さら形ふた板の厚さについての規定	I-4-105
PVC-3430	さら形ふた板に穴を設ける場合の規定	I-4-106
PVC-3500	容器の管板についての規定	I-4-106
PVC-3510	管穴の中心間距離および管板の厚さの規定	I-4-106
PVC-3600	管台についての規定	I-4-107
PVC-3610	管台の厚さの規定	I-4-107
PVC-3700	フランジについての規定	I-4-109
PVC-3710	フランジの規格	I-4-109
PVC-3720	各形状におけるフランジの厚さの規定	I-4-109
PVC-3800	伸縮継手における疲労評価	I-4-111
PVC-3810	伸縮継手における疲労評価	I-4-111
PVC-3900	開放タンクについての規定	I-4-112
PVC-3910	開放タンク形状についての規定	I-4-112
PVC-3920	開放タンクの胴の厚さの規定	I-4-112
PVC-3930	屋根がない場合の形状規定	I-4-113
PVC-3940	開放タンクの胴に穴を開ける場合の規定	I-4-113
PVC-3950	開放タンクの胴の穴の補強規定	I-4-113
PVC-3960	開放タンクの底板の規定	I-4-114
PVC-3970	開放タンクの底板の厚さの規定	I-4-114
PVC-3980	開放タンクの管台の厚さの規定	I-4-114
PVC-3990	開放タンクのフランジの規定	I-4-114
PVC-4000	容器の製造	I-4-115
PVC-4100	容器の形状	I-4-115
PVC-4110	最大内径と最小内径との差の規定	I-4-115
PVC-4120	外面に圧力を受ける胴の真円に対する 最大偏差の規定	I-4-115
PVC-4200	溶接部の設計	I-4-117
PVC-4210	クラス2容器の溶接部の設計	I-4-117
PVC-4211	継手区分AおよびBの溶接部	I-4-117
PVC-4212	その他の継手の溶接部	I-4-118
PVC-4220	クラス2容器の溶接部	I-4-119
PVC-4230	開先面	I-4-119
PVC-4240	準用	I-4-119
PVC-5000	完成検査	I-4-138
PVC-5010	クラス2容器の完成検査	I-4-138

PVD クラス3容器

PVD-1000	クラス3容器	I-4-139
PVD-1100	適用	I-4-139
PVD-1110	適用範囲	I-4-139
PVD-1120	温度制限	I-4-139
PVD-2000	クラス3容器に使用する材料	I-4-139
PVD-2100	クラス3容器に使用可能な材料の規定	I-4-139
PVD-2110	クラス3容器に使用可能な材料の規定	I-4-139
PVD-2120	材料に関する熱処理にかかる部分の特例規定	I-4-139
PVD-2130	溶接する母材の規定	I-4-139
PVD-2200	機械試験に関する要求	I-4-139
PVD-2210	試験片の熱処理および採取方法	I-4-139
PVD-2300	破壊非性試験要求	I-4-140
PVD-2310	破壊非性試験不要となる材料の規定	I-4-140
PVD-2320	破壊非性試験における試験片数と組数	I-4-140
PVD-2330	破壊非性試験の試験方法および判定基準	I-4-140
PVD-2400	非破壊試験要求	I-4-140
PVD-2410	非破壊試験要求	I-4-140
PVD-2500	溶接材料	I-4-141
PVD-2510	溶接に用いる材料	I-4-141
PVD-3000	クラス3容器の設計	I-4-141
PVD-3100	クラス2容器の規定を準用する項の規定	I-4-141
PVD-3100	容器の胴の規定	I-4-141
PVD-3110	厚さの算出式に含まれている継手効率の値	I-4-141
PVD-3120	胴に穴を設ける場合の規定 および補強を要しない穴の規定	I-4-142
PVD-3121	穴を設ける場合の規定	I-4-142
PVD-3122	補強を要しない穴の規定	I-4-142
PVD-3200	容器の鏡板についての規定	I-4-144
PVD-3210	鏡板に穴を設ける場合の規定および 補強を要しない穴の規定	I-4-144
PVD-3211	穴を設ける場合の規定	I-4-144
PVD-3212	補強を要しない穴の規定	I-4-144
PVD-3220	鏡板の穴を補強する場合の規定	I-4-146
PVD-3221	穴の補強についての規定	I-4-146
PVD-3222	強め材による穴の補強	I-4-146

PVD-3223	フランジによる補強	I-4-147
PVD-3300	容器の平板についての規定	I-4-147
PVD-3310	平板の厚さの規定	I-4-147
PVD-3320	平板に穴を設ける場合の規定および補強の規定	I-4-153
PVD-3321	穴を設ける場合の規定	I-4-153
PVD-3322	補強の規定	I-4-153
PVD-3400	伸縮継手における疲労評価	I-4-153
PVD-3410	伸縮継手における疲労評価	I-4-153
PVD-3500	開放タンクについての規定	I-4-154
PVD-3510	開放タンクに穴を設ける場合の規定 および補強不要となる穴の規定	I-4-154
PVD-3511	穴を設ける場合の規定	I-4-154
PVD-3512	補強不要となる穴の規定	I-4-154
PVD-3600	容器の胴として使用できる管継手	I-4-155
PVD-3610	容器の胴として使用できる管継手の規定	I-4-155
PVD-4000	容器の製造	I-4-155
PVD-4100	溶接部の設計	I-4-155
PVD-4110	クラス3容器の溶接部の設計	I-4-155
PVD-4111	継手区分AおよびBの溶接部	I-4-155
PVD-4112	その他の継手の溶接部	I-4-156
PVD-4120	クラス3容器の溶接部	I-4-157
PVD-4130	準用	I-4-157
PVD-5000	完成検査	I-4-176
PVD-5010	クラス3容器の完成検査	I-4-176

PVE クラスMC容器

PVE-1000	クラスMC容器	I-4-177
PVE-1100	適用	I-4-177
PVE-1110	適用範囲	I-4-177
PVE-1120	温度制限	I-4-177
PVE-1200	クラスMC容器の材料および構造の特例、 適用除外	I-4-177
PVE-1210	材料および構造の特例	I-4-177
PVE-1220	適用除外	I-4-177
PVE-2000	クラスMC容器に使用する材料	I-4-177
PVE-2100	クラスMC容器に使用可能な材料	I-4-177

PVE-2110	クラスMC容器に使用可能な材料の規定	I-4-177
PVE-2111	溶接する母材	I-4-178
PVE-2120	材料の熱処理に関する部分の特例規定	I-4-178
PVE-2200	機械試験に関する要求	I-4-178
PVE-2210	試験片の熱処理および採取方法	I-4-178
PVE-2300	破壊靶性試験要求	I-4-178
PVE-2310	破壊靶性試験不要となる材料の規定	I-4-178
PVE-2320	破壊靶性試験における試験片数と組数	I-4-178
PVE-2330	破壊靶性試験の試験方法、 判定基準および再試験条件	I-4-178
PVE-2331	ボルト材以外で厚さが63mm以下の材料	I-4-179
PVE-2331.1	落重試験	I-4-179
PVE-2331.2	衝撃試験	I-4-179
PVE-2332	再試験	I-4-180
PVE-2333	ボルト材およびボルト材以外で厚さが 63mmを超える材料	I-4-181
PVE-2333.1	落重試験	I-4-181
PVE-2333.2	衝撃試験	I-4-181
PVE-2334	再試験	I-4-182
PVE-2400	非破壊試験要求	I-4-182
PVE-2410	非破壊試験要求	I-4-182
PVE-2500	溶接材料	I-4-182
PVE-2510	溶接材料の規定	I-4-182
PVE-3000	クラスMC容器の設計	I-4-183
PVE-3010	クラスMC容器の構造の規格	I-4-183
PVE-3100	PVE-3010に規定されない荷重により 著しい応力が生じる部分の取扱い	I-4-183
PVE-3110	ボルト材以外の応力評価	I-4-183
PVE-3111	各供用状態における応力評価	I-4-183
PVE-3112	試験状態における応力評価	I-4-183
PVE-3113	ジェット力および機械的荷重に対する応力評価	I-4-183
PVE-3114	軸方向に圧縮荷重を受ける円筒形の胴の規定	I-4-185
PVE-3120	ボルト材の応力評価	I-4-185
PVE-3130	簡易弾塑性解析	I-4-186
PVE-3140	極限解析を用いた一次応力評価	I-4-186
PVE-3200	容器の胴	I-4-186

PVE-3210	容器の胴の形状	I-4-186
PVE-3211	円筒形、球形または円すい形の胴の形状	I-4-187
PVE-3220	容器の継手	I-4-187
PVE-3230	容器の胴の厚さの規定	I-4-187
PVE-3240	継手効率の値	I-4-190
PVE-3250	胴に連続した穴がある場合における当該部分の 効率についての規定	I-4-190
PVE-3251	大きさの同じ穴が胴の長手方向の一直線上に 同一のピッチに配置されている場合の規定	I-4-191
PVE-3252	数群の大きさの同じ穴が胴の長手方向の 一直線上に規則的に配置される場合の規定	I-4-191
PVE-3253	大きさの同じ穴が胴の長手方向の一直線上に 不規則に配置されている場合の規定	I-4-191
PVE-3254	大きさの同じ穴が斜線上または千鳥形に 配置されている場合の規定	I-4-192
PVE-3260	穴を設ける場合の規定	I-4-193
PVE-3270	詳細解析による場合の穴の設計について	I-4-194
PVE-3280	穴の補強についての規定	I-4-194
PVE-3281	穴の補強の確認計算	I-4-194
PVE-3282	隣接した穴の場合の規定	I-4-198
PVE-3283	補強面積の設置条件	I-4-198
PVE-3284	管台、強め材または溶接金属の規定	I-4-198
PVE-3285	強め材を溶接により取り付ける場合の規定	I-4-199
PVE-3286	強め材の取り付け強さ	I-4-199
PVE-3287	内圧を受ける円すい形の胴と円筒形の 胴とを接続する場合の規定	I-4-199
PVE-3288	円すい形の胴と円筒形の胴とを 接続する場合の規定	I-4-199
PVE-3289	円すい形の胴の大径端と円筒形の胴との接続部に 強め輪を設ける場合の規定	I-4-199
PVE-3290	円すい形の胴の大径端と円筒形の胴との接続部に 強め輪を設ける場合の強め輪の規定	I-4-200
PVE-3291	円すい形の胴の小径端と円筒形の胴との接続部に 強め輪を設ける場合の規定	I-4-201
PVE-3292	円すい形の胴の小径端と円筒形の胴との接続部に	

	強め輪を設ける場合の規定	I-4-201
PVE-3293	外圧を受ける容器の胴に強め輪を設ける場合の規定	I-4-202
PVE-3300	容器の鏡板	I-4-206
PVE-3310	容器の鏡板の形状	I-4-206
PVE-3320	容器の鏡板の厚さの規定	I-4-206
PVE-3321	中低面に圧力を受けるさら形鏡板の厚さの規定	I-4-207
PVE-3322	中高面に圧力を受けるさら形鏡板の厚さの規定	I-4-207
PVE-3323	中低面に圧力を受ける全半球形鏡板の厚さの規定	I-4-207
PVE-3324	中高面に圧力を受ける全半球形鏡板の厚さの規定	I-4-208
PVE-3325	中低面に圧力を受ける半だ円形鏡板の厚さの規定	I-4-208
PVE-3326	中高面に圧力を受ける半だ円形鏡板の厚さの規定	I-4-208
PVE-3327	中低面に圧力を受ける円すい形鏡板の厚さの規定	I-4-209
PVE-3328	中高面に圧力を受ける円すい形鏡板の厚さの規定	I-4-209
PVE-3330	鏡板に穴を設ける場合の規定	I-4-209
PVE-3340	穴を補強する場合の規定	I-4-209
PVE-3350	容器の鏡板に穴を設ける場合の準用規定	I-4-209
PVE-3400	容器の平板	I-4-210
PVE-3410	平板の厚さの規定	I-4-210
PVE-3420	平板に穴を設ける場合の規定	I-4-214
PVE-3500	容器のフランジ付きさら形ふた板	I-4-214
PVE-3510	中低面に圧力を受けるさら形ふた板の形状	I-4-214
PVE-3520	さら形ふた板の厚さの規定1	I-4-214
PVE-3521	さら形ふた板の厚さの規定2	I-4-215
PVE-3522	さら形ふた板の厚さの規定3	I-4-215
PVE-3530	さら形ふた板に穴を設ける場合の規定	I-4-215
PVE-3600	容器の管台	I-4-216
PVE-3610	管台の厚さの規定	I-4-216
PVE-3611	内圧を受ける管台の厚さの規定	I-4-216
PVE-3612	外圧を受ける管台の厚さの規定	I-4-217
PVE-3613	炭素鋼鋼管を使用する場合の厚さの規定	I-4-218
PVE-3700	容器のフランジ	I-4-218
PVE-3710	フランジの規格	I-4-218
PVE-3720	容器のフランジの厚さの規定1	I-4-218
PVE-3721	容器のフランジの厚さの規定2	I-4-218
PVE-3722	容器のフランジの厚さの規定3	I-4-218

PVE-3723	容器のフランジの厚さの規定 4	I-4-219
PVE-3724	容器のフランジの厚さの規定 5	I-4-220
PVE-3800	伸縮継手	I-4-220
PVE-3810	伸縮継手の疲労評価	I-4-220
PVE-4000	容器の製造	I-4-221
PVE-4100	容器の形状	I-4-221
PVE-4110	円筒、円すい胴の最大内径と 最小内径との差の規定	I-4-221
PVE-4120	外圧を受ける円筒形、円すい形、球形の胴の 真円に対する最大偏差の規定	I-4-221
PVE-4200	溶接部の設計	I-4-224
PVE-4210	クラスMC容器の溶接部の設計	I-4-224
PVE-4211	継手区分A	I-4-224
PVE-4212	継手区分B	I-4-224
PVE-4213	継手区分C	I-4-224
PVE-4214	継手区分D	I-4-224
PVE-4215	その他の継手	I-4-224
PVE-4220	クラスMC容器の溶接部	I-4-225
PVE-4230	溶接後熱処理	I-4-225
PVE-4240	準用	I-4-225
PVE-5000	完成検査	I-4-242
PVE-5010	クラスMC容器の完成検査	I-4-242

容器 (MANDATORY APPENDIX)

添付 4-1	RT _{NDT} 要求値の決定方法	I-4-243
添付 4-2	設計疲労線図	I-4-246

容器 (NON-MANDATORY APPENDIX)

添付 4-A	応力拡大係数 (K _I) の計算方法	I-4-258
添付 4-B	蒸気発生器伝熱管U字管部 流力弹性振動防止の評価方法	I-4-283

第5章 管**PPA 管 (一般要求事項)**

PPA-1000	一般要求事項	I-5-1	
PPA-1010	適用範囲	I-5-1	
PPA-2000	用語の定義	I-5-1	
PPA-2100	配管設計における用語	I-5-1	
PPA-2200	配管の解析における用語	I-5-1	
PPA-3000	記号の定義	I-5-1	
PPA-3100	配管設計における記号	I-5-1	
PPA-3110	溶接管の許容応力	I-5-2	08
PPA-3111	クラス1配管	I-5-2	08
PPA-3112	クラス2配管、クラス3配管およびクラス4配管	I-5-2	08
PPA-3120	鋸造品の検査方法	I-5-2	08
PPA-3130	許容応力に対する特別な要求	I-5-2	08
PPA-3200	配管の解析における記号	I-5-3	
PPA-3300	応力分類	I-5-3	

PPB クラス1配管

PPB-1000	クラス1配管	I-5-5
PPB-1100	適用	I-5-5
PPB-1110	適用範囲	I-5-5
PPB-1200	クラス1配管の材料および構造の特例	I-5-5
PPB-1210	クラス1配管の材料および構造の特例	I-5-5
PPB-2000	クラス1配管に使用する材料	I-5-5
PPB-2100	クラス1配管に使用可能な材料の規定	I-5-5
PPB-2120	クラス1配管に適用可能な材料	I-5-5
PPB-2121	クラス1配管への適用が特別に認められる材料	I-5-5
PPB-2130	溶接する母材の規定	I-5-5
PPB-2170	衝撃特性を改善するための熱処理	I-5-5
PPB-2200	試験片の採取方法	I-5-6
PPB-2220	供試材および試験片の採取方法	I-5-6
PPB-2300	破壊靱性試験要求	I-5-6
PPB-2310	破壊靱性試験不要となる材料の規定	I-5-6
PPB-2320	破壊靱性試験における試験片数と組数	I-5-6
PPB-2330	破壊靱性試験の方法および判定基準	I-5-6
PPB-2400	非破壊試験要求	I-5-7
PPB-2410	試験要求	I-5-7
PPB-2420	非破壊試験の実施時期	I-5-7

PPB-2430	試験方法	I-5-7
PPB-2440	判定基準	I-5-7
PPB-2450	溶接による補修	I-5-7
PPB-2500	溶接材料	I-5-7
PPB-2510	溶接に用いる材料	I-5-7
PPB-3000	管の設計	I-5-7
PPB-3100	一般要求事項	I-5-7
PPB-3110	一般要求事項	I-5-7
PPB-3111	応力の制限	I-5-8
PPB-3112	クラス1容器規定による設計	I-5-8
PPB-3400	耐圧設計	I-5-8
PPB-3410	形状	I-5-8
PPB-3411	直管	I-5-8
PPB-3412	曲げ管	I-5-9
PPB-3413	平板	I-5-9
PPB-3414	フランジ	I-5-11
PPB-3415	管継手	I-5-12
PPB-3415.1	レジューサ	I-5-13
PPB-3415.2	鏡板	I-5-14
PPB-3420	穴と補強	I-5-16
PPB-3421	一般要求事項	I-5-16
PPB-3422	穴の補強の適用条件	I-5-16
PPB-3423	鏡板へ設ける穴の適用条件	I-5-18
PPB-3424	穴の補強の適合条件	I-5-18
PPB-3430	管の接続	I-5-22
PPB-3500	配管系の解析による設計	I-5-22
PPB-3510	一般要求事項	I-5-22
PPB-3511	配管要素	I-5-22
PPB-3520	設計条件における一次応力制限	I-5-23
PPB-3530	供用状態AおよびBにおける 一次+二次応力制限	I-5-23
PPB-3531	一次+二次応力範囲の制限	I-5-23
PPB-3532	ピーク応力の算出	I-5-25
PPB-3533	繰返しピーク応力強さ	I-5-26
PPB-3534	許容繰返し回数	I-5-26
PPB-3535	疲労累積係数	I-5-26

PPB-3536	簡易弾塑性解析	I-5-27
PPB-3550	供用状態 C に対する規定	I-5-30
PPB-3551	許容圧力	I-5-30
PPB-3552	一次応力制限	I-5-30
PPB-3560	供用状態 D に対する規定	I-5-30
PPB-3561	許容圧力	I-5-30
PPB-3562	一次応力制限	I-5-30
PPB-3700	物性値	I-5-30
PPB-3723	熱膨張係数	I-5-30
PPB-3724	縦弾性係数	I-5-30
PPB-3725	ポアソン比	I-5-31
PPB-3800	応力係数とフレキシビリティファクター	I-5-31
PPB-3810	応力係数	I-5-31
PPB-3812	応力係数表	I-5-31
PPB-3812.1	応力係数表	I-5-31
PPB-3812.2	テーパ付き溶接部の応力係数	I-5-33
PPB-3812.3	突合せ溶接式レジューサの応力係数	I-5-35
PPB-3812.4	曲げ管および突合せ溶接式エルボの応力係数	I-5-37
PPB-3813	管台の応力係数	I-5-38
PPB-3814	突合せ溶接式ティーの応力係数	I-5-41
PPB-3815	長手継手と周継手の交さ部の応力係数	I-5-42
PPB-3816	長手継手を有する管継手の応力係数	I-5-42
PPB-3817	曲がり部が隣接する場合の応力係数	I-5-42
PPB-3860	フレキシビリティファクター	I-5-42
PPB-3861	直管	I-5-43
PPB-3862	曲げ管および突合せ溶接式エルボ	I-5-44
PPB-3865	管台	I-5-45
PPB-3900	クラッド配管	I-5-46
PPB-3910	クラッド配管	I-5-46
PPB-4000	溶接部の設計	I-5-46
PPB-4010	クラス 1 配管の溶接部の設計	I-5-46
PPB-4020	クラス 1 配管の溶接部	I-5-47
PPB-4030	準用	I-5-47
PPB-5000	完成検査	I-5-55
PPB-5010	クラス 1 配管の完成検査	I-5-55

PPC クラス2配管

PPC-1000	クラス2配管	I-5-56
PPC-1100	適用	I-5-56
PPC-1110	適用範囲	I-5-56
PPC-1200	クラス2配管の材料および構造の特例	I-5-56
PPC-1210	クラス2配管の材料および構造の特例	I-5-56
PPC-2000	クラス2配管に使用する材料	I-5-56
PPC-2100	クラス2配管に使用可能な材料の規定	I-5-56
PPC-2120	クラス2配管に適用可能な材料	I-5-56
PPC-2121	クラス2配管への適用が特別に認められる材料	I-5-56
PPC-2130	溶接する母材の規定	I-5-56
PPC-2170	衝撃特性を改善するための熱処理	I-5-56
PPC-2200	試験片の採取方法	I-5-57
PPC-2220	供試材および試験片の採取方法	I-5-57
PPC-2300	破壊非性試験要求	I-5-57
PPC-2310	破壊非性試験不要となる材料の規定	I-5-57
PPC-2320	破壊非性試験における試験片数と組数	I-5-57
PPC-2330	破壊非性試験の方法および判定基準	I-5-57
PPC-2400	非破壊試験要求	I-5-58
PPC-2410	非破壊試験要求	I-5-58
PPC-2420	非破壊試験の実施時期	I-5-58
PPC-2430	試験方法	I-5-58
PPC-2440	判定基準	I-5-58
PPC-2450	溶接による補修	I-5-58
PPC-2500	溶接材料	I-5-58
PPC-2510	溶接に用いる材料	I-5-58
PPC-3000	管の設計	I-5-58
PPC-3100	一般要求事項	I-5-58
PPC-3110	一般要求事項	I-5-58
PPC-3111	応力の制限	I-5-59
PPC-3113	検定水圧試験	I-5-59
PPC-3400	耐圧設計	I-5-60
PPC-3410	形状	I-5-60
PPC-3411	直管	I-5-60
PPC-3412	曲げ管	I-5-62
PPC-3413	平板	I-5-62

PPC-3414	フランジ	I-5-66
PPC-3415	管継手	I-5-67
PPC-3415.1	レジューサ	I-5-67
PPC-3415.2	鏡板	I-5-69
PPC-3416	伸縮継手	I-5-71
PPC-3420	穴と補強	I-5-72
PPC-3421	一般要求事項	I-5-72
PPC-3422	穴の補強の適用条件	I-5-72
PPC-3423	鏡板に設ける穴の適用条件	I-5-75
PPC-3424	穴の補強の適合条件	I-5-75
PPC-3430	管の接続	I-5-80
PPC-3500	配管系の解析による設計	I-5-81
PPC-3510	一般要求事項	I-5-81
PPC-3511	配管要素	I-5-81
PPC-3520	設計条件における一次応力制限	I-5-81
PPC-3530	供用状態 A および B における 一次+二次応力制限	I-5-82
PPC-3700	物性値	I-5-84
PPC-3723	熱膨張係数	I-5-84
PPC-3724	綫弾性係数	I-5-85
PPC-3725	ポアソン比	I-5-85
PPC-3800	応力係数	I-5-85
PPC-3810	応力係数	I-5-85
PPC-3900	クラッド配管	I-5-89
PPC-3910	クラッド配管	I-5-89
PPC-4000	溶接部の設計	I-5-90
PPC-4010	クラス 2 配管の溶接部の設計	I-5-90
PPC-4020	クラス 2 配管の溶接部	I-5-90
PPC-4030	準用	I-5-90
PPC-5000	完成検査	I-5-103
PPC-5010	クラス 2 配管の完成検査	I-5-103

PPD クラス3配管

PPD-1000	クラス3配管	I-5-104
PPD-1100	適用	I-5-104
PPD-1110	適用範囲	I-5-104

PPD-1200	クラス3配管の材料および構造の特例	I-5-104
PPD-1210	クラス3配管の材料および構造の特例	I-5-104
PPD-2000	クラス3配管に使用する材料	I-5-104
PPD-2100	クラス3配管に使用可能な材料の規定	I-5-104
PPD-2120	クラス3配管に適用可能な材料	I-5-104
PPD-2121	クラス3配管への適用が特別に認められる材料	I-5-104
PPD-2130	溶接する母材の規定	I-5-104
PPD-2170	衝撃特性を改善するための熱処理	I-5-104
PPD-2200	試験片の採取方法	I-5-105
PPD-2220	供試材および試験片の採取方法	I-5-105
PPD-2300	材料に対する破壊靱性要求	I-5-105
PPD-2310	破壊靱性試験不要となる材料の規定	I-5-105
PPD-2320	破壊靱性試験における試験片数と組数	I-5-105
PPD-2330	破壊靱性試験の方法および判定基準	I-5-105
PPD-2500	溶接材料	I-5-106
PPD-2510	溶接に用いる材料	I-5-106
PPD-3000	管の設計	I-5-106
PPD-3100	一般要求事項	I-5-106
PPD-3110	一般要求事項	I-5-106
PPD-3111	管の耐圧設計	I-5-106
PPD-3113	検定水圧試験	I-5-106
PPD-3400	耐圧設計	I-5-107
PPD-3410	形状	I-5-107
PPD-3411	直管	I-5-107
PPD-3412	曲げ管	I-5-110
PPD-3413	平板	I-5-110
PPD-3414	フランジ	I-5-114
PPD-3415	管継手	I-5-115
PPD-3415.1	レジューサ	I-5-116
PPD-3415.2	鏡板	I-5-118
PPD-3416	伸縮継手	I-5-120
PPD-3420	穴と補強	I-5-120
PPD-3421	一般要求事項	I-5-121
PPD-3422	穴の補強の適用条件	I-5-121
PPD-3423	鏡板に設ける穴の適用条件	I-5-121
PPD-3424	穴の補強の適合条件	I-5-123

PPD-3430	管の接続	I-5-128
PPD-3700	物性値	I-5-129
PPD-3723	熱膨張係数	I-5-129
PPD-3724	縦弾性係数	I-5-129
PPD-3900	クラッド配管	I-5-129
PPD-3910	クラッド配管	I-5-129
PPD-4000	溶接部の設計	I-5-130
PPD-4010	クラス3配管の溶接部の設計	I-5-130
PPD-4020	クラス3配管の溶接部	I-5-131
PPD-4030	準用	I-5-131
PPD-5000	完成検査	I-5-149
PPD-5010	クラス3配管の完成検査	I-5-149

PPH クラス4配管

PPH-1000	クラス4配管	I-5-150
PPH-1100	適用	I-5-150
PPH-1110	適用範囲	I-5-150
PPH-2000	クラス4配管に使用する材料	I-5-150
PPH-2100	クラス4配管に使用可能な材料の規定	I-5-150
PPH-2120	クラス4配管に適用可能な材料	I-5-150
PPH-2121	クラス4配管への適用が特別に認められる材料	I-5-150
PPH-2130	溶接する母材の規定	I-5-150
PPH-2170	衝撃特性を改善するための熱処理	I-5-150
PPH-2500	溶接材料	I-5-150
PPH-2510	溶接に用いる材料	I-5-150
PPH-3000	管の設計	I-5-151
PPH-3010	管の形状	I-5-151
PPH-3020	管の厚さ	I-5-151
PPH-3030	管の接続	I-5-151
PPH-3040	継手の構造	I-5-151
PPH-3045	管継手	I-5-152
PPH-4000	溶接部の設計	I-5-153
PPH-4010	クラス4配管の溶接部の設計	I-5-153
PPH-4020	クラス4配管の溶接部	I-5-153
PPH-4030	準用	I-5-153
PPH-5000	完成検査	I-5-171

PPH-5010 クラス4配管の完成検査 I-5-171

配管 (NON-MANDATORY APPENDIX)

添付 5-A 流力振動評価 I-5-172
 添付 5-B 高サイクル熱疲労評価 I-5-173

第6章 ポンプ

PMA ポンプ (一般要求事項)

PMA-1000 一般要求事項	I-6-1
PMA-1010 適用範囲	I-6-1
PMA-2000 用語の定義	I-6-1
PMA-3000 許容応力に対する考慮	I-6-1 08
PMA-3010 溶接管の許容応力	I-6-1 08
PMA-3020 鋳造品の検査方法	I-6-1 08
PMA-3030 許容応力に対する特別な要求	I-6-1 08

PMB クラス1ポンプ

PMB-1000 クラス1ポンプ	I-6-2
PMB-1100 適用	I-6-2
PMB-1110 適用範囲	I-6-2
PMB-2000 クラス1ポンプに使用する材料	I-6-2
PMB-2100 クラス1ポンプに使用可能な材料の規定	I-6-2
PMB-2110 クラス1ポンプに使用可能な材料の規定	I-6-2
PMB-2120 热処理	I-6-2
PMB-2200 材料試験の試験材に関する要求	I-6-2
PMB-2210 材料試験の試験材に関する要求	I-6-2
PMB-2300 破壊非性試験要求	I-6-2
PMB-2310 破壊非性試験不要となる材料の規定	I-6-2
PMB-2320 破壊非性試験における試験片数と組数	I-6-3
PMB-2330 破壊非性試験の方法および判定基準	I-6-3
PMB-2400 非破壊試験要求	I-6-3

PMB-2410	クラス1ポンプの非破壊試験要求	I-6-3
PMB-3000	クラス1ポンプの設計	I-6-4
PMB-3100	ポンプの形式	I-6-4
PMB-3110	ポンプの形式の規定	I-6-4
PMB-3200	ポンプの構造強度	I-6-4
PMB-3210	ポンプの構造強度の規定	I-6-4
PMB-3300	ケーシングの構造強度	I-6-6
PMB-3310	ケーシングの厚さの規定	I-6-6
PMB-3320	吸込みおよび吐出口部分の厚さの規定範囲	I-6-9
PMB-3330	ケーシング各部形状の規定	I-6-10
PMB-3400	ケーシングカバーの構造強度	I-6-11
PMB-3410	ケーシングカバーの構造強度の規定	I-6-11
PMB-3500	ボルトの構造強度	I-6-14
PMB-3510	ボルトの構造強度の規定	I-6-14
PMB-5000	完成検査	I-6-14
PMB-5010	クラス1ポンプの完成検査	I-6-14

PMC クラス2ポンプ

PMC-1000	クラス2ポンプ	I-6-15
PMC-1100	適用	I-6-15
PMC-1110	適用範囲	I-6-15
PMC-2000	クラス2ポンプに使用する材料	I-6-15
PMC-2100	クラス2ポンプに使用可能な材料の規定	I-6-15
PMC-2110	クラス2ポンプに使用可能な材料の規定	I-6-15
PMC-2120	熱処理	I-6-15
PMC-2200	材料試験の試験材に関する要求	I-6-15
PMC-2210	材料試験の試験材に関する要求	I-6-15
PMC-2300	破壊非性試験要求	I-6-15
PMC-2310	破壊非性試験不要となる材料の規定	I-6-15
PMC-2320	破壊非性試験における試験片数と組数	I-6-16
PMC-2330	破壊非性試験の方法および判定基準	I-6-16
PMC-2400	鋳造品に対する非破壊試験	I-6-16
PMC-2410	鋳造品に対する非破壊試験要求	I-6-16
PMC-2420	溶接による補修	I-6-17
PMC-3000	クラス2ポンプの設計	I-6-17
PMC-3100	ポンプの形式	I-6-17

PMC-3110	ポンプの形式の規定	I-6-17
PMC-3200	ポンプの構造強度	I-6-17
PMC-3210	ポンプの構造強度の規定	I-6-17
PMC-3220	検定水圧による強度規定	I-6-17
PMC-3300	ケーシングの構造強度	I-6-18
PMC-3310	ケーシングの構造強度の規定	I-6-18
PMC-3320	ケーシングの厚さの規定	I-6-18
PMC-3330	吸込みおよび吐出口部分の厚さの規定範囲	I-6-22
PMC-3340	ケーシング各部形状の規定	I-6-23
PMC-3350	往復ポンプの耐圧部分等の厚さ	I-6-26
PMC-3400	ケーシングカバーの構造強度	I-6-26
PMC-3410	ケーシングカバーの構造強度の規定	I-6-26
PMC-3500	ボルトの構造強度	I-6-31
PMC-3510	ボルトの構造強度の規定	I-6-31
PMC-3600	管台の構造強度	I-6-32
PMC-3610	管台の構造強度の規定	I-6-32
PMC-3700	フランジの構造強度	I-6-32
PMC-3710	吸込および吐出フランジ	I-6-32
PMC-3720	さら形ケーシングカバー取付けフランジ	I-6-32
PMC-5000	完成検査	I-6-34
PMC-5010	クラス2ポンプの完成検査	I-6-34

PMD クラス3ポンプ

PMD-1000	クラス3ポンプ	I-6-35
PMD-1100	適用	I-6-35
PMD-1110	適用範囲	I-6-35
PMD-2000	クラス3ポンプに使用する材料	I-6-35
PMD-2100	クラス3ポンプに使用可能な材料の規定	I-6-35
PMD-2110	クラス3ポンプに使用可能な材料の規定	I-6-35
PMD-2120	熱処理	I-6-35
PMD-2200	材料試験の試験材に関する要求	I-6-35
PMD-2210	材料試験の試験材に関する要求	I-6-35
PMD-2300	破壊靭性試験要求	I-6-35
PMD-2310	破壊靭性試験不要となる材料の規定	I-6-35
PMD-2320	破壊靭性試験における試験片数と組数	I-6-36
PMD-2330	破壊靭性試験の方法および判定基準	I-6-36

PMD-3000	クラス3ポンプの設計	I-6-36
PMD-3100	ポンプの形式	I-6-36
PMD-3110	ポンプの形式の規定	I-6-36
PMD-3200	ポンプの構造強度	I-6-37
PMD-3210	ポンプの構造強度の規定	I-6-37
PMD-3220	検定水圧による強度規定	I-6-37
PMD-3300	ケーシングの構造強度	I-6-38
PMD-3310	ケーシングの厚さの規定	I-6-38
PMD-3320	吸込みおよび吐出口部分の厚さの規定範囲	I-6-43
PMD-3330	ケーシング各部形状の規定	I-6-44
PMD-3340	往復ポンプの耐圧部分等の厚さ	I-6-47
PMD-3400	ケーシングカバーの構造強度	I-6-47
PMD-3410	ケーシングカバーの構造強度の規定	I-6-47
PMD-3500	ボルトの構造強度	I-6-52
PMD-3510	ボルトの構造強度の規定	I-6-52
PMD-3600	管台の構造強度	I-6-53
PMD-3610	管台の構造強度の規定	I-6-53
PMD-3700	フランジの構造強度	I-6-53
PMD-3710	吸込みおよび吐出フランジ	I-6-53
PMD-3720	さら形ケーシングカバー取付けフランジ	I-6-53
PMD-5000	完成検査	I-6-55
PMD-5010	クラス3ポンプの完成検査	I-6-55

第7章 弁

VVA 弁 (一般要求事項)

VVA-1000	一般要求事項	I-7-1
VVA-1010	適用範囲	I-7-1
VVA-2000	用語の定義	I-7-1
VVA-3000	許容応力に対する考慮	I-7-1 08
VVA-3010	溶接管の許容応力	I-7-1 08
VVA-3011	クラス1弁	I-7-1 08
VVA-3012	クラス2弁およびクラス3弁	I-7-1 08
VVA-3020	鋳造品の検査方法	I-7-2 08
VVA-3030	許容応力に対する特別な要求	I-7-2 08

VVB クラス1弁

VVB-1000 クラス1弁	I-7-3
VVB-1100 適用	I-7-3
VVB-1110 適用範囲	I-7-3
VVB-2000 クラス1弁に使用する材料	I-7-3
VVB-2100 クラス1弁に使用可能な材料の規定	I-7-3
VVB-2110 一般要求	I-7-3
VVB-2120 材料の熱処理に関する部分の特例規定	I-7-3
VVB-2300 破壊靶性試験要求	I-7-3
VVB-2310 破壊靶性試験不要となる材料の規定	I-7-3
VVB-2320 破壊靶性試験における試験片数と組数	I-7-4
VVB-2330 破壊靶性試験の方法および判定基準	I-7-4
VVB-2340 材料の試験の準用規定	I-7-4
VVB-2400 非破壊試験要求	I-7-4
VVB-2410 一般要求	I-7-4
VVB-2420 非破壊試験を必要としない材料	I-7-4
VVB-2430 非破壊試験の方法および判定基準	I-7-5
VVB-3000 クラス1弁の設計	I-7-5
VVB-3010 一般要求	I-7-5
VVB-3100 弁の圧力温度基準	I-7-5
VVB-3110 圧力温度基準の一般要求	I-7-5
VVB-3200 耐圧部の設計	I-7-5
VVB-3210 弁箱または弁ふた	I-7-5
VVB-3220 管台	I-7-6
VVB-3300 弁の応力評価	I-7-6
VVB-3310 適用範囲	I-7-6
VVB-3320 内圧による弁箱の一次応力評価	I-7-7
VVB-3330 配管反力による弁箱の二次応力評価	I-7-9
VVB-3340 弁箱の一次+二次応力評価	I-7-11
VVB-3350 弁箱の局部一次応力評価	I-7-14
VVB-3360 起動時および停止時における弁箱の疲労評価	I-7-14
VVB-3370 弁箱の疲労解析	I-7-15
VVB-3380 弁体の応力評価	I-7-16
VVB-3390 弁箱と弁ふたのフランジの応力評価	I-7-16
VVB-3400 弁の形状	I-7-17

VVB-3410	弁箱の形状の規定	I-7-17
VVB-3411	外部、内部の交差面の隅部	I-7-17
VVB-3412	耐圧境界の挿入口	I-7-19
VVB-3413	付属物	I-7-19
VVB-3414	弁箱内部の輪郭	I-7-19
VVB-3415	円筒形以外の弁箱形状	I-7-19
VVB-3416	平坦部分	I-7-20
VVB-5000	完成検査	I-7-20
VVB-5010	クラス1弁の完成検査	I-7-20

VVC クラス2弁

VVC-1000	クラス2弁	I-7-21
VVC-1100	適用	I-7-21
VVC-1110	適用範囲	I-7-21
VVC-2000	クラス2弁に使用する材料	I-7-21
VVC-2100	クラス2弁に使用可能な材料の規定	I-7-21
VVC-2110	一般要求	I-7-21
VVC-2120	材料の熱処理に関する部分の特例規定	I-7-21
VVC-2300	破壊韧性試験要求	I-7-21
VVC-2310	破壊韧性試験不要となる材料の規定	I-7-21
VVC-2320	破壊韧性試験における試験片数と組数	I-7-22
VVC-2330	破壊韧性試験の方法および判定基準	I-7-22
VVC-2340	材料の試験の準用規定	I-7-22
VVC-2400	非破壊試験要求	I-7-22
VVC-2410	一般要求	I-7-22
VVC-2420	溶接による補修	I-7-23
VVC-3000	クラス2弁の設計	I-7-23
VVC-3010	一般要求	I-7-23
VVC-3020	検定水圧による場合の除外規定	I-7-23
VVC-3100	弁の圧力温度基準	I-7-24
VVC-3110	圧力温度基準の一般要求	I-7-24
VVC-3200	耐圧部の設計	I-7-24
VVC-3210	弁箱および弁ふたの肉厚	I-7-24
VVC-3220	特殊な形状の弁箱の肉厚	I-7-25
VVC-3230	耐圧部に取り付く管台の必要最小厚さ	I-7-26
VVC-3300	弁の応力評価	I-7-27

VVC-3310	弁箱と弁ふたフランジ結合の弁のフランジの 応力評価	I-7-27
VVC-3400	弁の形状	I-7-27
VVC-3410	弁の出入口部に用いるフランジの規定	I-7-27
VVC-5000	完成検査	I-7-27
VVC-5010	クラス2弁の完成検査	I-7-27

VVD クラス3弁

VVD-1000	クラス3弁	I-7-28
VVD-1100	適用	I-7-28
VVD-1110	適用範囲	I-7-28
VVD-2000	クラス3弁に使用する材料	I-7-28
VVD-2100	クラス3弁に使用可能な材料の規定	I-7-28
VVD-2110	一般要求	I-7-28
VVD-2120	材料に関する熱処理に係る部分の特例規定	I-7-28
VVD-2300	破壊非性試験要求	I-7-28
VVD-2310	破壊非性試験不要となる材料の規定	I-7-28
VVD-2320	破壊非性試験における試験片数と組数	I-7-29
VVD-2330	破壊非性試験の方法および判定基準	I-7-29
VVD-2340	材料の試験の準用規定	I-7-29
VVD-3000	クラス3弁の設計	I-7-29
VVD-3010	一般要求	I-7-29
VVD-3020	検定水圧による場合の除外規定	I-7-30
VVD-3100	弁の圧力温度基準	I-7-31
VVD-3110	圧力温度基準の一般要求	I-7-31
VVD-3200	耐圧部の設計	I-7-31
VVD-3210	弁箱および弁ふたの肉厚	I-7-31
VVD-3220	特殊な形状の弁箱の肉厚	I-7-32
VVD-3230	耐圧部に取り付く管台の必要最小厚さ	I-7-33
VVD-3300	弁の応力評価	I-7-33
VVD-3310	弁箱と弁ふたとがフランジ結合の弁のフランジの 応力評価	I-7-33
VVD-3400	弁の形状	I-7-33
VVD-3410	弁の出入口部に用いるフランジの規定	I-7-33
VVD-3420	青銅弁の弁出入口部の継手区分	I-7-33
VVD-3430	青銅弁の弁箱と弁ふたとの接続	I-7-34

VVD-5000 完成検査	I-7-34
VVD-5010 クラス3弁の完成検査	I-7-34

第8章 支持構造物

S S A 支持構造物（一般要求事項）

SSA-1000 一般要求事項	I-8-1
SSA-1010 適用範囲	I-8-1
SSA-2000 用語の定義	I-8-1
SSA-3000 記号の定義	I-8-1
SSA-3010 溶接管の許容応力	I-8-2
SSA-3020 鋳造品の検査方法	I-8-3
SSA-3030 許容応力に対する特別な要求	I-8-3
	08
	08
	08

S S B 支持構造物（クラス1支持構造物）

SSB-1000 クラス1支持構造物	I-8-4
SSB-1100 適用	I-8-4
SSB-1110 適用範囲	I-8-4
SSB-2000 クラス1支持構造物に使用する材料	I-8-4
SSB-2100 クラス1支持構造物に使用可能な材料の規定	I-8-4
SSB-2110 クラス1支持構造物に使用可能な材料の規定	I-8-4
SSB-2120 材料の熱処理に関する規定	I-8-4
SSB-2200 材料試験の試験材に関する要求	I-8-4
SSB-2210 材料試験の試験材に関する要求	I-8-4
SSB-2300 破壊非性試験要求	I-8-5
SSB-2310 破壊非性試験不要となる材料の規定	I-8-5
SSB-2320 破壊非性試験における試験片数と組数	I-8-5
SSB-2330 破壊非性試験の方法と判定基準	I-8-5
SSB-2331 ボルト材の判定基準	I-8-5
SSB-2332 ボルト材の再試験要求	I-8-5
SSB-2333 ボルト材以外の判定基準	I-8-5
SSB-2334 ボルト材以外の再試験要求	I-8-6
SSB-2400 非破壊試験要求	I-8-6
SSB-2410 非破壊試験要求	I-8-6

SSB-2420	非破壊試験の判定基準	I-8-7
SSB-2430	非破壊試験の実施時期	I-8-7
SSB-3000	クラス1支持構造物の設計	I-8-7
SSB-3010	許容応力および許容荷重	I-8-7
SSB-3100	許容応力	I-8-7
SSB-3110	許容応力	I-8-7
SSB-3120	ボルト材以外の許容応力	I-8-7
SSB-3121	一次応力に対する許容応力	I-8-7
SSB-3121.1	供用状態AおよびBでの許容応力	I-8-7
SSB-3121.2	供用状態Cでの許容応力	I-8-12
SSB-3121.3	供用状態Dでの許容応力	I-8-13
SSB-3122	一次+二次応力に対する許容応力	I-8-13
SSB-3122.1	供用状態AおよびBでの許容応力	I-8-13
SSB-3130	ボルト材の許容応力	I-8-14
SSB-3131	供用状態AおよびBでの許容応力	I-8-14
SSB-3132	供用状態Cでの許容応力	I-8-14
SSB-3133	供用状態Dでの許容応力	I-8-15
SSB-3200	許容荷重	I-8-15
SSB-3210	許容荷重	I-8-15
SSB-3220	供用状態AおよびBでの許容荷重	I-8-15
SSB-3230	供用状態Cでの許容荷重	I-8-15
SSB-3240	供用状態Dでの許容荷重	I-8-16
SSB-3300	支持構造物の形状等	I-8-16
SSB-3310	幅厚比	I-8-16
SSB-3320	圧縮を受ける部材	I-8-16
SSB-3330	有効断面積	I-8-16
SSB-3331	ボルト接合部の有効断面積	I-8-16
SSB-3340	接合	I-8-17
SSB-3341	接合部における荷重伝達	I-8-17
SSB-3342	ボルト穴の寸法	I-8-17
SSB-3343	ボルト穴の最小ピッチ	I-8-17
SSB-3350	ハンガーロッドまたはばねを用いる支持構造物	I-8-17
SSB-3351	ハンガーロッド	I-8-18
SSB-3352	ばねを用いる支持構造物	I-8-18
SSB-5000	完成検査	I-8-18
SSB-5010	クラス1支持構造物の完成検査	I-8-18

S S C 支持構造物（クラス2支持構造物）

SSC-1000	クラス2支持構造物	I-8-19
SSC-1100	適用	I-8-19
SSC-1110	適用範囲	I-8-19
SSC-2000	クラス2支持構造物に使用する材料	I-8-19
SSC-2100	クラス2支持構造物に使用可能な材料の規定	I-8-19
SSC-2110	クラス2支持構造物に使用可能な材料の規定	I-8-19
SSC-2120	材料の熱処理に関する規定	I-8-19
SSC-3000	クラス2支持構造物の設計	I-8-19
SSC-3010	許容応力および許容荷重	I-8-19
SSC-3100	許容応力	I-8-20
SSC-3120	ボルト材以外の許容応力	I-8-20
SSC-3121	一次応力に対する許容応力	I-8-20
SSC-3121.1	供用状態AおよびBでの許容応力	I-8-20
SSC-3200	許容荷重	I-8-20
SSC-3210	許容荷重	I-8-20
SSC-3300	支持構造物の形状等	I-8-20
SSC-3310	幅厚比	I-8-20
SSC-3320	圧縮を受ける部材	I-8-20
SSC-3330	有効断面積	I-8-21
SSC-3331	ボルト接合部の有効断面積	I-8-21
SSC-3340	接合	I-8-21
SSC-3341	接合部における荷重伝達	I-8-21
SSC-3342	ボルト穴の寸法	I-8-21
SSC-3343	ボルト穴の最小ピッチ	I-8-21
SSC-3350	ハンガーロッドまたはばねを用いる支持構造物	I-8-21
SSC-3351	ハンガーロッド	I-8-21
SSC-3352	ばねを用いる支持構造物	I-8-21
SSC-5000	完成検査	I-8-21
SSC-5010	クラス2支持構造物の完成検査	I-8-21

S S D 支持構造物（クラス3支持構造物）

SSD-1000	クラス3支持構造物	I-8-22
SSD-1100	適用	I-8-22
SSD-1110	適用範囲	I-8-22

SSD-2000	クラス3支持構造物に使用する材料	I-8-22
SSD-2100	クラス3支持構造物に使用可能な材料の規定	I-8-22
SSD-2110	クラス3支持構造物に使用可能な材料の規定	I-8-22
SSD-2120	材料の熱処理に関する規定	I-8-22
SSD-3000	クラス3支持構造物の設計	I-8-22
SSD-3010	許容応力および許容荷重	I-8-22
SSD-3100	許容応力	I-8-23
SSD-3120	ボルト材以外の許容応力	I-8-23
SSD-3121	一次応力に対する許容応力	I-8-23
SSD-3121.1	供用状態AおよびBでの許容応力	I-8-23
SSD-3200	許容荷重	I-8-23
SSD-3210	許容荷重	I-8-23
SSD-3300	支持構造物の形状等	I-8-23
SSD-3310	幅厚比	I-8-23
SSD-3320	圧縮を受ける部材	I-8-23
SSD-3330	有効断面積	I-8-24
SSD-3331	ボルト接合部の有効断面積	I-8-24
SSD-3340	接合	I-8-24
SSD-3341	接合部における荷重伝達	I-8-24
SSD-3342	ボルト穴の寸法	I-8-24
SSD-3343	ボルト穴の最小ピッチ	I-8-24
SSD-3350	ハンガーロッドまたはばねを用いる支持構造物	I-8-24
SSD-3351	ハンガーロッド	I-8-24
SSD-3352	ばねを用いる支持構造物	I-8-24
SSD-5000	完成検査	I-8-24
SSD-5010	クラス3支持構造物の完成検査	I-8-24

SSE 支持構造物（クラスMC支持構造物）

SSE-1000	クラスMC支持構造物	I-8-25
SSE-1100	適用	I-8-25
SSE-1110	適用範囲	I-8-25
SSE-2000	クラスMC支持構造物に使用する材料	I-8-25
SSE-2100	クラスMC支持構造物に使用可能な材料の規定	I-8-25
SSE-2110	クラスMC支持構造物に使用可能な材料の規定	I-8-25
SSE-2120	材料の熱処理に関する規定	I-8-25
SSE-2200	材料試験の試験材に関する要求	I-8-25

SSE-2210	材料試験の試験材に関する要求	I-8-25
SSE-2300	破壊靱性試験要求	I-8-26
SSE-2310	破壊靱性試験不要となる材料の規定	I-8-26
SSE-2320	破壊靱性試験における試験片数と組数	I-8-26
SSE-2330	破壊靱性試験の方法と判定基準	I-8-26
SSE-2331	ボルト材の判定基準	I-8-26
SSE-2332	ボルト材の再試験要求	I-8-26
SSE-2333	ボルト材以外の判定基準	I-8-26
SSE-2334	ボルト材以外の再試験要求	I-8-27
SSE-3000	クラスMC支持構造物の設計	I-8-27
SSE-3010	許容応力および許容荷重	I-8-27
SSE-3100	材料の許容応力	I-8-27
SSE-3110	材料の許容応力	I-8-27
SSE-3120	ボルト材以外の許容応力	I-8-28
SSE-3121	一次応力に対する許容応力	I-8-28
SSE-3121.1	供用状態AおよびBでの許容応力	I-8-28
SSE-3121.2	供用状態Cでの許容応力	I-8-28
SSE-3121.3	供用状態Dでの許容応力	I-8-28
SSE-3122	一次+二次応力に対する許容応力	I-8-28
SSE-3122.1	供用状態AおよびBでの許容応力	I-8-28
SSE-3130	ボルト材の許容応力	I-8-28
SSE-3131	供用状態AおよびBでの許容応力	I-8-29
SSE-3132	供用状態Cでの許容応力	I-8-29
SSE-3133	供用状態Dでの許容応力	I-8-29
SSE-3200	許容荷重	I-8-29
SSE-3210	許容荷重	I-8-29
SSE-3300	支持構造物の形状等	I-8-29
SSE-3310	幅厚比	I-8-29
SSE-3320	圧縮を受ける部材	I-8-29
SSE-3330	有効断面積	I-8-29
SSE-3331	ボルト接合部の有効断面積	I-8-29
SSE-3340	接合	I-8-29
SSE-3341	接合部における荷重伝達	I-8-30
SSE-3342	ボルト穴の寸法	I-8-30
SSE-3343	ボルト穴の最小ピッチ	I-8-30
SSE-3350	ハンガーロッドまたはばねを用いる支持構造物	I-8-30

SSE-3351	ハンガーロッド	I-8-30
SSE-3352	ばねを用いる支持構造物	I-8-30
SSE-5000	完成検査	I-8-30
SSE-5010	クラスMC支持構造物の完成検査	I-8-30

支持構造物 (MANDATORY APPENDIX)

添付 8-1 幅厚比の条件	I-8-31
---------------	--------

第9章 炉心支持構造物

CSS-1000	一般要求事項	I-9-1	
CSS-1100	適用	I-9-1	
CSS-1110	適用範囲	I-9-1	
CSS-1120	境界	I-9-1	
CSS-1121	炉心支持構造物と炉内構造物の境界	I-9-1	
CSS-1300	記号の定義	I-9-1	
CSS-1310	溶接管の許容応力	I-9-1	08
CSS-1320	鋳造品の検査方法	I-9-1	08
CSS-1400	応力分類	I-9-1	
CSS-2000	炉心支持構造物に使用する材料	I-9-5	
CSS-2100	炉心支持構造物に使用可能な材料	I-9-5	
CSS-2110	炉心支持構造物に使用可能な材料の規定	I-9-5	
CSS-2111	溶接する母材の規定	I-9-5	A09
CSS-2120	材料の熱処理に関する部分の特例規定	I-9-5	
CSS-2130	機械試験に関する要求事項	I-9-5	
CSS-2300	破壊非性試験要求	I-9-5	
CSS-2310	破壊非性試験不要となる材料の規定	I-9-5	
CSS-2320	破壊非性試験における試験片数と組数	I-9-5	
CSS-2330	破壊非性試験の方法および判定基準	I-9-6	A09
CSS-2400	非破壊試験要求	I-9-6	
CSS-2410	各材料に適用する非破壊試験	I-9-6	
CSS-2420	溶接による補修	I-9-6	
CSS-2430	非破壊試験の判定基準	I-9-6	
CSS-2500	溶接材料	I-9-6	

CSS-2510	溶接材料に用いる材料	I-9-6	
CSS-3000	炉心支持構造物の設計	I-9-7	A09
CSS-3010	考慮すべき荷重	I-9-7	A09
CSS-3020	考慮すべき事項	I-9-7	
CSS-3100	材料の応力強さの限界および許容応力	I-9-7	
CSS-3110	ボルト等締結部材以外の応力評価	I-9-7	
CSS-3111	各供用状態における一次応力評価	I-9-9	
CSS-3111.1	プロトタイプまたはモデル試験による評価	I-9-9	
CSS-3112	供用状態 A、B における一次十二次応力評価	I-9-10	
CSS-3113	疲労評価（供用状態 A、B）	I-9-10	
CSS-3114	純せん断応力評価	I-9-10	
CSS-3115	支圧応力評価	I-9-10	
CSS-3116	軸圧縮応力の評価	I-9-11	
CSS-3116.1	軸方向に圧縮荷重を受ける円筒形の胴の 圧縮応力の評価	I-9-11	
CSS-3116.2	軸方向に圧縮荷重を受ける柱状の部材の 圧縮応力の評価	I-9-11	
CSS-3117	ねじりせん断応力の評価	I-9-12	
CSS-3120	ボルト等締結部材の応力評価	I-9-12	
CSS-3121	各供用状態における応力評価	I-9-14	
CSS-3121.1	設計条件における応力評価	I-9-14	
CSS-3121.2	供用状態 A および B における応力評価	I-9-14	
CSS-3121.3	供用状態 C における応力評価	I-9-14	
CSS-3121.4	供用状態 D における応力評価	I-9-14	
CSS-3122	疲労評価（供用状態 A、B）	I-9-14	
CSS-3123	ボルト頭部の平均支圧応力の評価	I-9-15	
CSS-3130	疲労解析不要の条件	I-9-15	
CSS-3140	疲労強度減少係数または応力集中係数	I-9-17	
CSS-3150	溶接部継手効率	I-9-17	
CSS-3160	極限解析による評価	I-9-19	
CSS-3200	外面に圧力を受ける炉心支持構造物の評価	I-9-20	
CSS-3210	外面に圧力を受ける炉心支持構造物の形状	I-9-20	
CSS-3220	円筒形または円すい形の胴における許容圧力(外圧)	I-9-22	
CSS-3230	球形の胴における許容圧力	I-9-23	
CSS-3240	外面に圧力を受ける円筒形の 炉心支持構造物に強め輪を設ける場合	I-9-24	

CSS-3300	簡易弾塑性解析	I-9-25
CSS-3310	簡易弾塑性解析の適用	I-9-25
CSS-3311	材料の最小降伏点および最小引張強さ に対する適用制限	I-9-25
CSS-3312	温度制限	I-9-25
CSS-3313	熱曲げ応力を除く一次十二次応力強さの制限	I-9-26
CSS-3314	繰返しピーク応力強さに対する制限	I-9-26
CSS-3320	簡易弾塑性解析を用いた疲労評価	I-9-26
CSS-3400	クラッド構造の炉心支持構造物に対する 強度評価上の取扱いについての規定	I-9-26
CSS-4000	炉心支持構造物の製造	I-9-27 A09
CSS-4220	溶接部の検査	I-9-27 A09
CSS-4221	開先面	I-9-27 A09
CSS-4222	非破壊試験	I-9-27 A09
CSS-4230	継手の構造	I-9-27 A09
CSS-4231	継手の食違い	I-9-27 A09
CSS-4232	厚さの異なる母材の突合せ溶接の構造	I-9-27 A09
CSS-4233	継手の仕上げ	I-9-27 A09
CSS-4241	炉心支持構造物の溶接後熱処理	I-9-27 A09
CSS-5000	完成検査	I-9-28 A09
CSS-5010	炉心支持構造物の完成検査	I-9-28 A09

第10章 安全弁等

S R V 安全弁等

SRV-1000	安全弁等	I-10-1
SRV-1100	適用	I-10-1
SRV-1110	適用範囲	I-10-1
SRV-1120	用語の定義	I-10-1
SRV-2000	安全弁等に使用する材料	I-10-1
SRV-2010	一般要求	I-10-1
SRV-3000	安全弁等の設計	I-10-2
SRV-3010	構造の要求	I-10-2
SRV-3100	吹出し要求	I-10-2

SRV-3110	容量計算	I-10-2
SRV-3111	安全弁等の容量計算	I-10-2
SRV-3112	逃し弁の容量計算	I-10-2
SRV-3113	破裂板の容量計算	I-10-3
SRV-5000	完成検査	I-10-3
SRV-5010	安全弁等の完成検査	I-10-3

V B V 真空破壊弁

VBV-1000	真空破壊弁	I-10-4
VBV-1100	適用	I-10-4
VBV-1110	適用範囲	I-10-4
VBV-2000	真空破壊弁に使用する材料	I-10-4
VBV-2010	一般要求	I-10-4
VBV-3000	真空破壊弁の設計	I-10-4
VBV-3010	真空破壊弁の構造	I-10-4
VBV-5000	完成検査	I-10-4
VBV-5010	真空破壊弁の完成検査	I-10-4

第11章 耐圧試験

PHT-1000	耐圧試験	I-11-1
PHT-1010	適用範囲	I-11-1
PHT-1020	耐圧試験要求	I-11-1
PHT-1100	一般要求事項	I-11-1
PHT-1110	系統、機器および付属機器の耐圧試験	I-11-1
PHT-1111	気圧による耐圧試験	I-11-1
PHT-1111.1	気圧による耐圧試験を行う場合の条件	I-11-1
PHT-1111.2	気圧による耐圧試験を行う場合の注意	I-11-1
PHT-1112	耐圧試験の実施時期	I-11-1
PHT-1112.1	系統の耐圧試験	I-11-1
PHT-1112.2	機器および付属機器の耐圧試験	I-11-2
PHT-1112.3	材料の耐圧試験	I-11-2
PHT-1120	耐圧試験前の準備	I-11-2
PHT-1121	継手部の扱い	I-11-2
PHT-1122	一時的なサポートの追加	I-11-2

PHT-1123	伸縮継手の拘束または隔離	I-11-2
PHT-1124	耐圧試験の対象外設備の隔離措置	I-11-2
PHT-1125	閉止板を入れたフランジの扱い	I-11-3
PHT-1126	加圧媒体の膨張に対する予防措置	I-11-3
PHT-1127	試験前の設備の確認	I-11-3
PHT-2000	内圧を受ける機器の耐圧試験圧力	I-11-3
PHT-2100	クラス1機器	I-11-3
PHT-2110	原子炉圧力容器	I-11-3
PHT-2111	水圧による耐圧試験を行う場合	I-11-3
PHT-2112	気圧による耐圧試験を行う場合	I-11-3
PHT-2120	原子炉圧力容器以外のクラス1機器	I-11-3
PHT-2121	水圧による耐圧試験を行う場合	I-11-3
PHT-2122	気圧による耐圧試験を行う場合	I-11-4
PHT-2130	最高許容耐圧試験圧力	I-11-4
PHT-2200	クラス2機器	I-11-4
PHT-2211	水圧による耐圧試験を行う場合	I-11-4
PHT-2212	気圧による耐圧試験を行う場合	I-11-4
PHT-2213	開放タンクの耐圧試験	I-11-5
PHT-2230	最高許容耐圧試験圧力	I-11-5
PHT-2300	クラス3機器	I-11-5
PHT-2311	水圧による耐圧試験を行う場合	I-11-5
PHT-2312	気圧による耐圧試験を行う場合	I-11-6
PHT-2313	開放タンクの耐圧試験	I-11-6
PHT-2330	最高許容耐圧試験圧力	I-11-6
PHT-2400	クラス4配管	I-11-6
PHT-2412	気圧による耐圧試験を行う場合	I-11-6
PHT-2500	クラスMC機器	I-11-6
PHT-2511	水圧による耐圧試験を行う場合	I-11-6
PHT-2512	気圧による耐圧試験を行う場合	I-11-6
PHT-2530	最高許容耐圧試験圧力	I-11-7
PHT-2540	貫通部の耐圧試験圧力	I-11-7
PHT-2600	安全弁	I-11-7
PHT-2610	一次側耐圧部の耐圧試験	I-11-7
PHT-2620	二次側耐圧部の耐圧試験	I-11-7
PHT-3000	外圧を受ける機器の耐圧試験	I-11-7
PHT-3010	内部が大気圧未満になることにより、	

	大気圧による外圧を受ける機器の場合	I-11-7
PHT-3011	水圧による耐圧試験を行う場合	I-11-8
PHT-3012	気圧による耐圧試験を行う場合	I-11-8
PHT-3020	外圧および内圧の両方を受ける機器の場合	I-11-8
PHT-4000	試験圧力の保持時間	I-11-8
PHT-4010	各機器の試験圧力の保持時間	I-11-8
PHT-5000	耐圧保持後の検査（漏えいの確認を含む）	I-11-8
PHT-5010	各機器の耐圧保持後の検査 (漏えいの確認を含む)	I-11-8
PHT-6000	耐圧試験の代替方法	I-11-9
PHT-6010	規定圧力による耐圧試験が困難な場合の代替方法	I-11-9
PHT-6011	機器の一部が開放されており, かつ、開放部に栓をすることが困難な場合	I-11-9
PHT-6012	構造的に機器全体の漏えい確認が困難な場合	I-11-9
PHT-6020	非破壊試験による代替試験	I-11-9

第12章 監視試験

RST-1000	監視試験	I-12-1
RST-1010	適用範囲	I-12-1
RST-1020	監視試験片の設置	I-12-1
RST-1100	監視試験片	I-12-1
RST-1110	監視試験片の製造	I-12-1
RST-1120	監視試験片の種類	I-12-1
RST-1130	監視試験片の数	I-12-1
RST-1200	監視試験	I-12-2
RST-1210	監視試験の回数	I-12-2
RST-1220	監視試験片の設置位置	I-12-2
RST-1230	監視試験	I-12-2

別表

別表 1-1	弁またはフランジの許容圧力 (クラス1弁およびクラス2弁)	I-別表-1
--------	--	--------

別表 1-2	弁またはフランジの許容圧力（クラス3弁）	I-別表-6
別表 2	鉄鋼製管のフランジの寸法	I-別表-10
別表 3	鉄鋼製弁の最小厚さ	I-別表-14
別表 4	管継手の寸法	I-別表-17
別表 5-1	弁の耐圧試験の圧力（クラス1弁およびクラス2弁）	I-別表-18
別表 5-2	弁の耐圧試験の圧力（クラス3弁）	I-別表-19